

①自己評価

・保護者アンケート」結果と考察

- ・本校の保護者252世帯を対象に、12月に実施。
- ・回答方法は、各世帯1回のみ。
- ・全242件の解答があった。96.0%の回答率であった。

【考察】

昨年度より全保護者を対象とした学校評価アンケートを実施している。

昨年度の回答率(約89%)に比べ、今年度は約96%の回答率であった。formsでの回答が定着してきており、全校の保護者の意見から意見をいただくことができたと考ええる。

回答を見てみると、15項目にわたる回答のすべてにおいて、「そう思う」「どちらかというと思う」の肯定的な御意見があわせて90%以上となった。このことから、学校が2学期末までに行ってきた教育活動において概ね肯定的な支持を得ていると考えることができる。

1 生徒指導

③については昨年の結果と比べて「そう思う」が10%以上下がっている。望ましい生活や人間関係づくりについては、まず学級内をしっかりと見渡し、児童に寄り添った指導が今後一層求められるし、人間関係づくりにおいては、担任だけでなくすべての職員がそれぞれの立場で関わっていくことも必要である。

肯定的な意見が多いが、全体として「そう思う」の回答が昨年度に比べ低くなっている。学校としてさらなる児童理解に努め、保護者の信頼を得るべく努力していく必要がある。

2 学習指導

⑦「学校は、児童の体力向上や健康の保持増進のための指導を行っている。」、⑧「学校は、家庭学習について家庭と連携を図っている。」については、肯定的ではあるが、「そう思う」の回答が50%を切っている。⑦についてはコロナ禍にあり、運動の取組などに不安を感じている御家庭があることが読み取れる。⑧については、本年度2学期に保護者に向けて新たな家庭学習の手引きを配付し、取り組みを開始したところである。しかし、いただいた御意見の中にも低学年の取組など負担を感じているというのがあり、家庭学習の在り方について取組を進めるとともに、家庭の理解と協力が得られるように努めていかなければならない。

3 児童の安全確保

⑨「学校は、児童の安全な登下校のために安全指導を行っている。」⑩「学校は、災害や犯罪発生を想定した対応に取り組んでいる。」の2項目については昨年度に比べて高い評価をいただいている。校長による登校の見守りや、職員による安全指導が評価されていると考えられる。コロナ対策についても引き続きしっかりとした対策を行っていきたい。

4 学校・保護者の連携

⑫学校からの通知やお便り、ホームページなどは、保護者に必要な情報を伝えている。」⑮「コミュニティ・スクールとして、学校と地域の連携を深める取り組みが行われている。」の2項目については昨年より高い評価をいただいた。一方、「家庭訪問、個別懇談、地区別授業参観などは、教職員と保護者が相互に理解を深めたり、課題を共有したりする機会になっている。」については「そう思う」の評価が下がっている。コロナ禍の学校生活も3年目となるかな、連携の在り方についても工夫が求められているのだと考える。来年度に向けて大きな課題の1つである。

自由記述として約40件の意見が寄せられた。その多くに先生方の日頃の児童との関わりや丁寧な御指導に感謝の思いが綴られている。校長先生を中心に職員が日々取り組んできたことが評価されているのだと考えることができる。今後も児童のよりよい成長を目指し、学校と家庭で連携しながら教育活動を進めていきたい。

一方、宿題や登校班、教室環境について改善を求める意見をいただいた。宿題の量や内容についても、よく精査し取組を行っていく必要がある。家庭学習の取組を2学期から再スタートしたが、その趣旨や取り組み方法について、保護者に向けての説明が十分ではなかったところもあるのかもしれない。今後も工夫していく必要を感じる。

登校班については、折に触れ地域の方や旗振り当番の保護者から連絡をいただき、その都度地区担当の先生方や安全指導の先生に関わっていただき児童に対して指導を行ってきた。改善がみられる班もあるようなので、班長・副班長を中心に安全に登校できるよう、また、新年度に向けて引継ぎができるように指導していくことが必要である。暑さ、寒さが厳しい教室もあるので感染症対策